

2021年9月編は、天候の関係で、少し遅め8月下旬に撮影しましたが、比較の関係で、2021年9月としています。

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

- A: 目立つカラー: 身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向
- B: 着装カラー: 着ている服の色動向
- C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー 1色を目立つカラーとする。

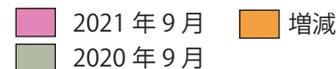
(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

概要

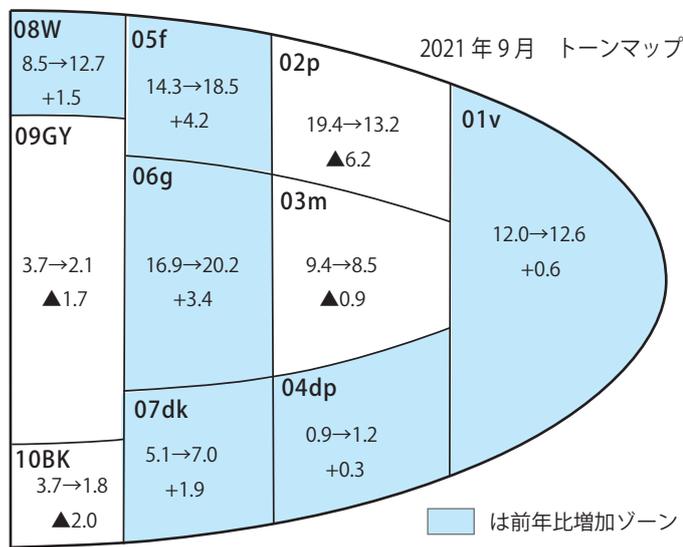
日時 2021年8月26日 32度
2020年9月5日 32度
場所 神戸元町(神戸大丸近く)
対象 20-50代女性

棒グラフ対応カラー



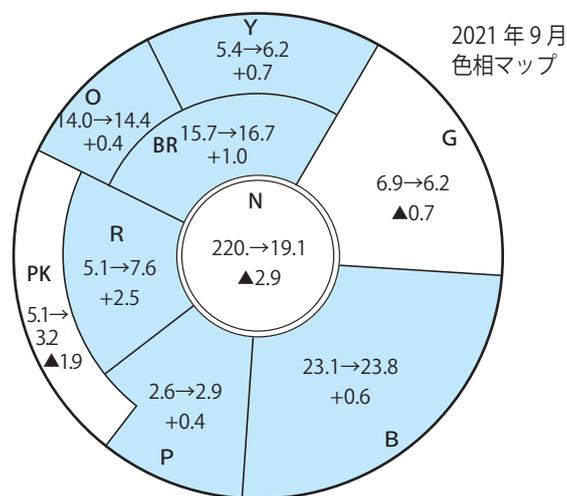
トーンの特徴

かすかなf、灰みg方向の低彩度がリード
白、暗いトーンが続き、高彩度方向も増加
反対に、減少は、明るい中彩度、暗い方向のニュートラル

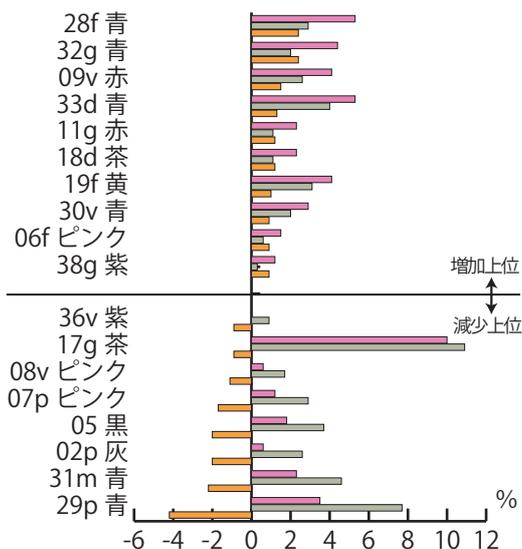


色相の特徴

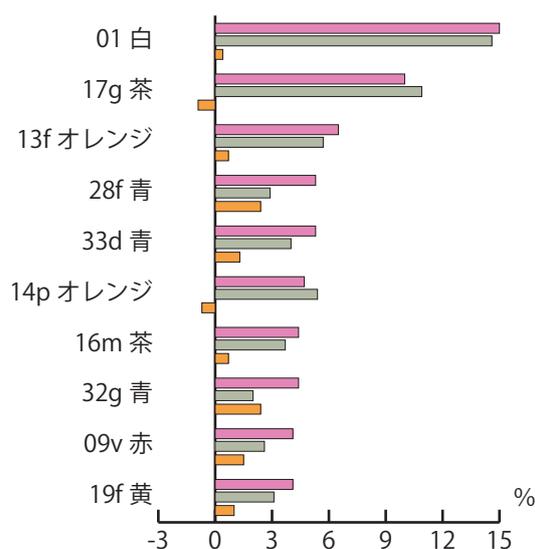
レッド中心に、幅広い色相が増加
ブルー、ブラウン、イエローが続く
減少は、ニュートラル、ピンクが多く、グリーンが続く



詳細な目立つカラー増減順位 (上位)



詳細な目立つカラー量順位 (上位)

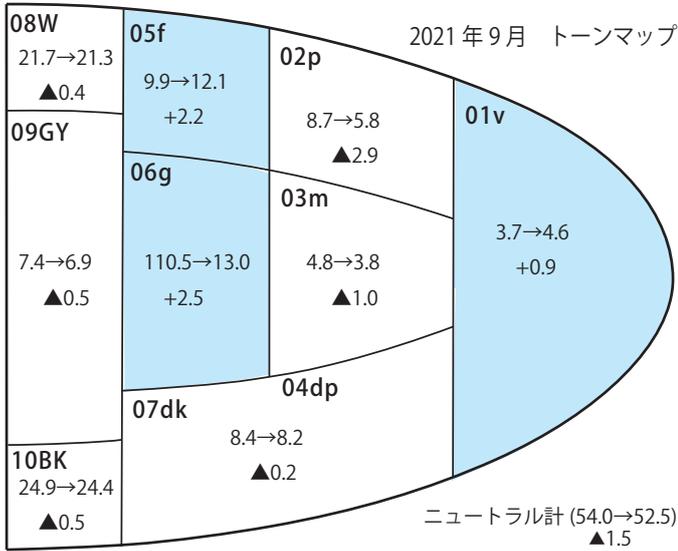


9色相マップで少し増加のブルーも内容的には変化が大きい。
かすかな、灰みのブルーの低彩度増加、中彩度の色み方向が大きく減少。
レッドはビビッド、灰みで増加を後押ししている。

白、g茶、13f オレンジは量的に安定
青系が、f、d、gと増加で続く
中彩度では、オレンジ、茶が残る
高彩度の赤、かすかな黄が続く

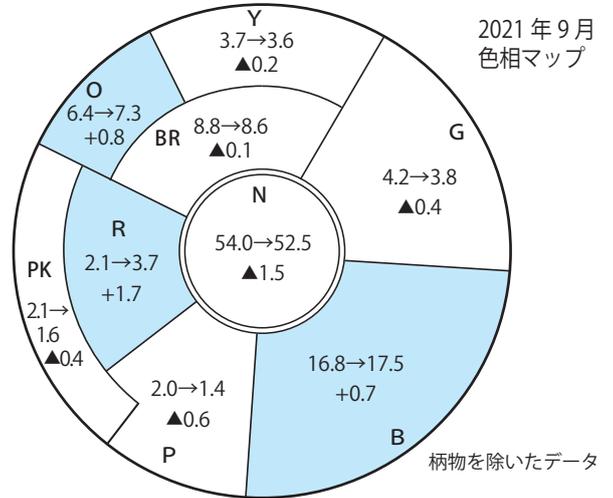
トーンの特徴

目立つカラーと比べ、増加が集約される
 かすかなf、灰みg方向がリードして、その周辺は全て減少
 となっている
 鮮やかなvは少ないながらも増加で続く
 減少は、中彩度が目立ち、ニュートラル、ダーク方向が続く

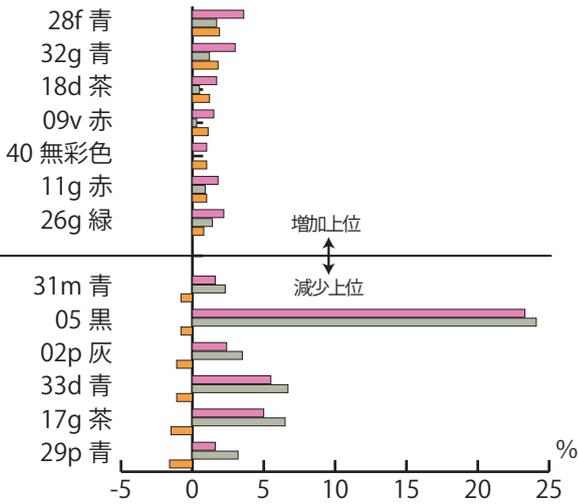


色相の特徴

目立つカラーと比べ、増加が集約されるが、全体に増減
 数値が少なく、色相では変化が少ないことがわかる
 +1.0以上増加はレッドのみで、g赤の増加による
 オレンジ、ブルーが増加で続く
 ▲1.0以下はニュートラルのみで、減少ゾーンは広いが、
 減少も少なく、継続している

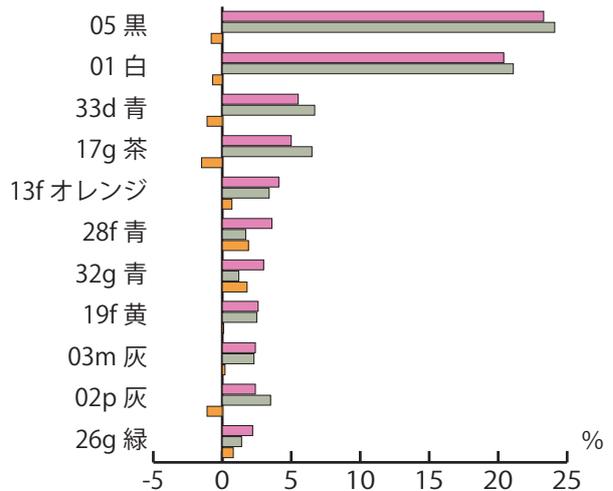


詳細な着装カラー増減 順位 (上位)



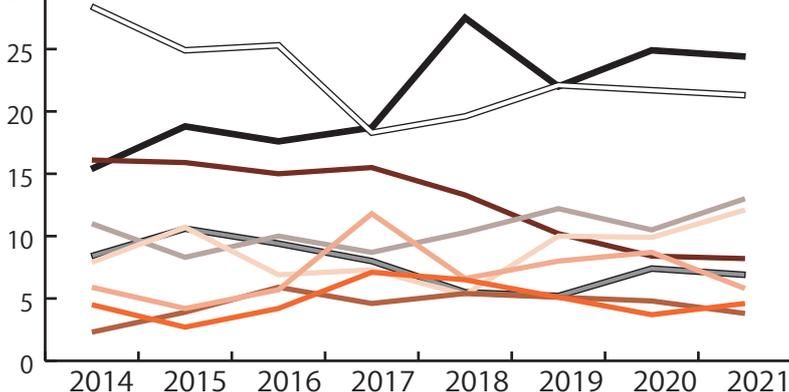
青、赤が2色、gが3色と増加でリード
 減少では、青が3色、ニュートラルが2色と多く、しかも、
 量的に多い使いやすいカラーが多い
 後述になるが、ジーンズ色の影響が大きい

詳細な着装カラー量 順位 (上位)



量的に多く使いやすい定番カラーが少し減少
 明るく、灰み方向が続く

9月度、9トーン別着装カラー推移(2014年～2021年)



量的に多い白、黒は安定
 増加傾向のトーンは
 ・灰み
 ・かすかな
 が量的にも伸びてきている
 減少傾向は
 ・濃く暗い
 2021年では、
 鮮やかなが少し増加以外は
 淡い含め、少し減少

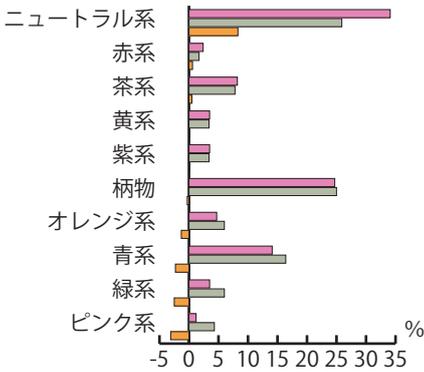
C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真 (カラーナンバー 40 番からは柄物)

6アイテムについて、着用動向を見ると、ボトム方向でのアイテムでは、パンツが+25%、スカート-25%、ドレス-8%となり、パンツ着用がかなり増加して、反対に、スカート着用している人は減少
 トップス方向では、カットソー+12%、ニット(セーター+カーディガン)+7%、ブラウス-7%とカットソーが増加

猛暑が続く夏に対応した着こなしが多い。涼しく感じられるよう、空気を取り込みやすい生地や、身体のラインを拾わないようボリュームを持たせている。

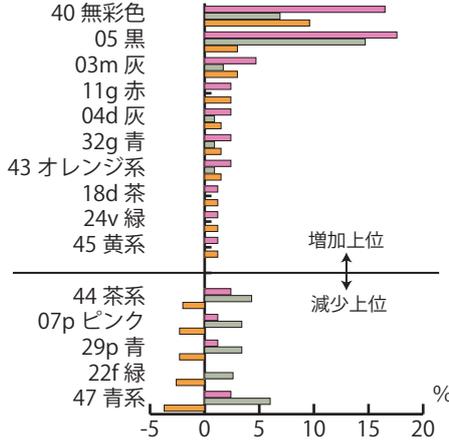
スカート 色では、ニュートラル系が大きくリード、暖色系がプラス、青系、緑系、ピンク系が減少
 詳細では、無彩色柄物が急増、黒、m灰が増加 g系が続く 減少では、青系などが減少

集約した色相増減 (増加順)

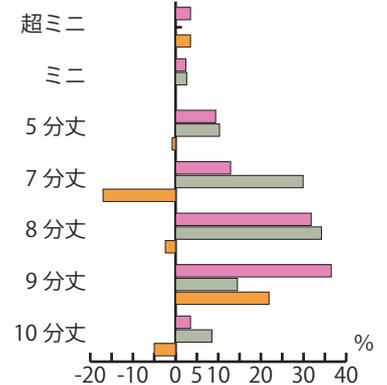


(ニュートラル系が、51%をしめ、前年比+17.8と大幅に増加 白は継続だが、それ以外は増加柄物+9.6、黒+3.0、m灰+3.0、d灰+1.5 p灰+0.9と増加 柄物が増加の半分をしめる)

詳細カラー増減 (上位) (カラーナンバー 40番からは柄物)



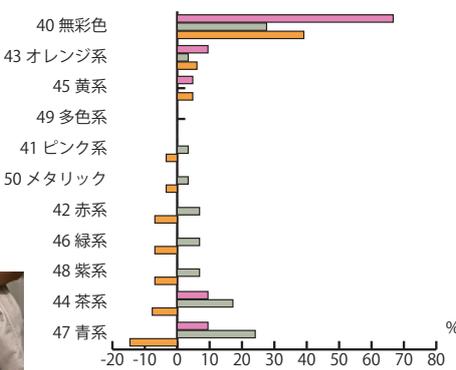
スカート丈増減



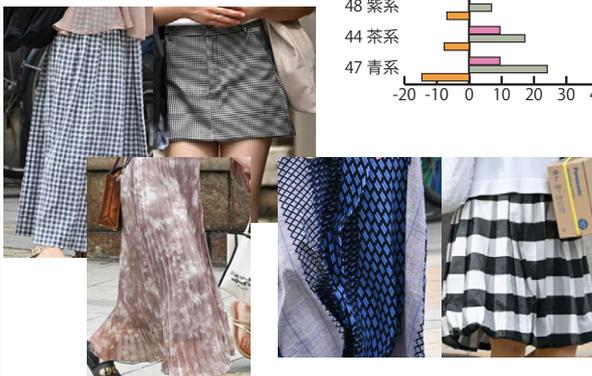
柄物で注意することは、

上記柄物の増減はないが、色相的には、右グラフのように、無彩色のみ急増している

スカート柄物集約色相別増減



増加柄
 チェック、ぼかし、ミックス
 ボーダー



増加カラー 無彩色、黒、m茶



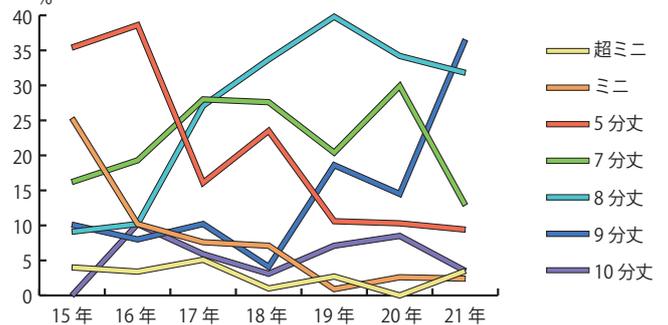
透け感



ロング丈増加 (9分、8分)



9月度 スカート丈推移 (2015年~2021年)

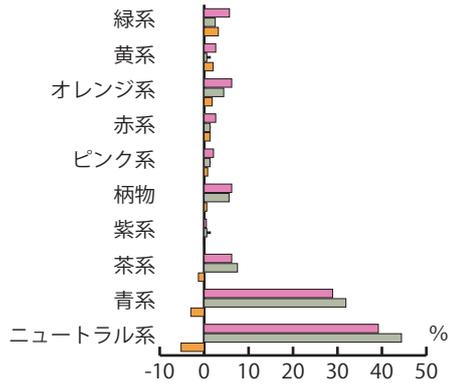


スカート丈は9分丈が増加、前年の7分丈はかなり減少
 上記グラフで推移を見ると、
 15年からミニ丈が少なくなり、16年からは5分丈が少なくなり始め、17年には7分、8分丈が上回る
 19年頃から9分丈が増加し、21年には量的に1位となる

パンツ

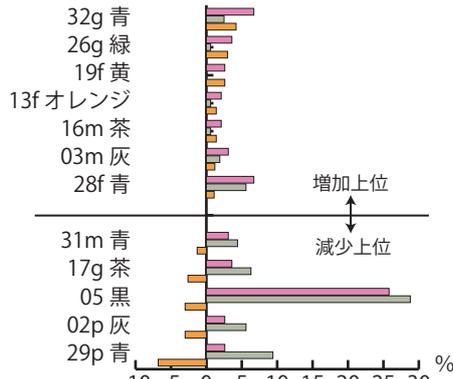
色では、緑系、黄系、オレンジ系が微増 ニュートラル系、青系が減少
 詳細では、g 青、g 緑がリード かすかなfが続く、減少はP 青、ニュートラルが目立つ

集約した色相増減 (増加順)

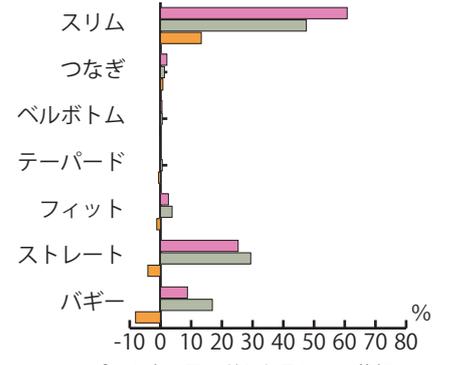


(ニュートラル系が、41%をしめている 前年比 -4.9 増加は m 灰 +1.2、減少は黒 -3.0、P 灰 -3.0が目立つ)

詳細カラー増減 (上位)



パンツ巾増減



パンツ巾はワイドからスリムに移行

つなぎ、ディテール 柄 ミックス、文字他

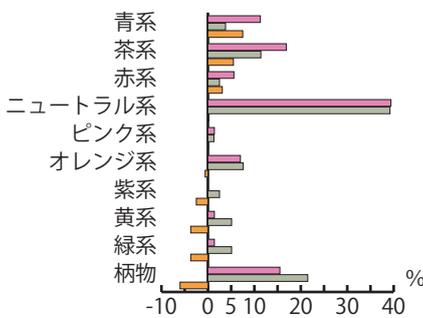
増加カラー 青系、緑系など
 デニムカラーが変わる p 青から g,f 青に



ドレス

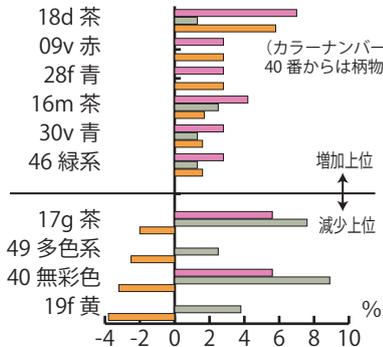
色では、青系、茶系、赤系が増加、柄物が減少
 詳細では、d 茶 m 茶、f 青 v 青、v 赤が続く 減少は f 黄、柄物が多い

集約した色相増減 (増加順)

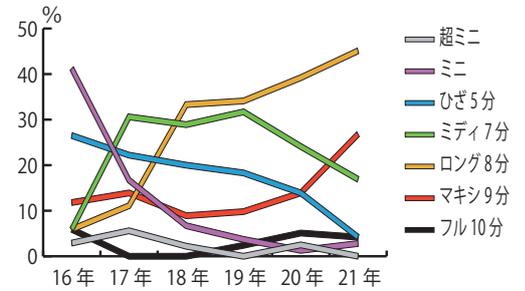


(ニュートラル系が、45%を占める 前年比 -3.0 減少 増減は少なく、継続 減少は柄物のニュートラル-3.2による)

詳細カラー増減 (上位)



9月度ドレス丈推移 (2016年~2021年)



8分、9分丈が増加、その分7分丈が減少 ミニ、ひざ丈の減少もスカートと同様傾向

増加カラー d 茶、v 赤、f 青

透け感



9分丈、8分丈

柄 小柄、小花

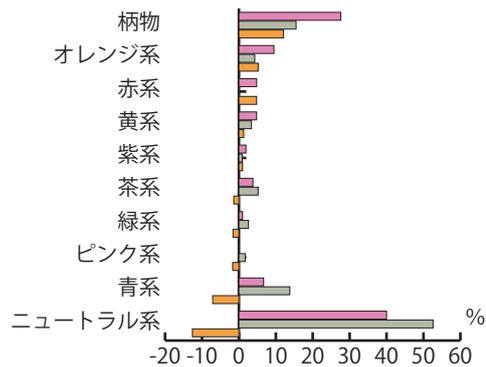


ブラウス

色では、オレンジ系、黄系がリード、ニュートラル系が大きく減少

詳細では、柄物の青系がリード、f オレンジ、f 黄が続く 減少はd 青、量的に多い黒、白

集約した色相増減 (増加順)

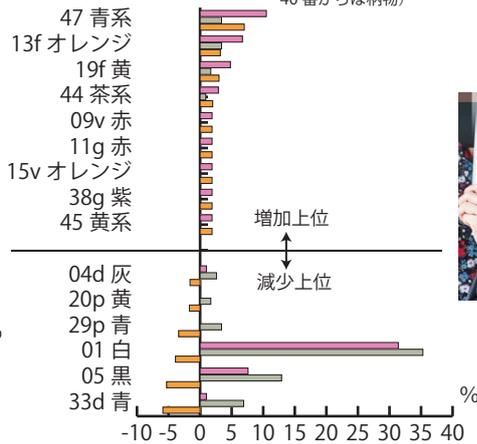


(ニュートラル系では、全体に大きく減少 -12.0
柄物以外は減少 白 -3.9、黒 -5.3、灰は少し減少)

増加カラー 青系、f オレンジ、f 黄、茶系、v 赤



詳細カラー増減 (上位) (カラーナンバー 40番からは柄物)



透け感、レース、フリル



柄 ストライプ、中花、幾何構成



膨らみ、広がり

拡大

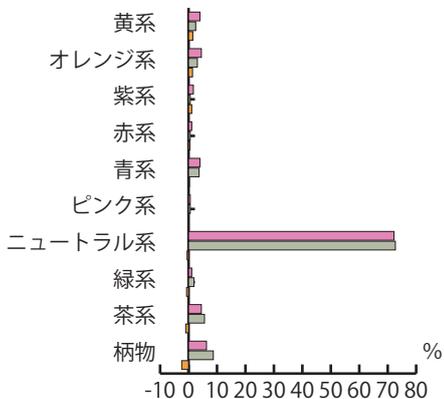


カットソー

色では、黄系、オレンジ系が少し増加 柄物が減少

詳細では、白が急増、d 灰、f オレンジが続く 白増加の反対に、黒が大きく減少

集約した色相増減 (増加順)

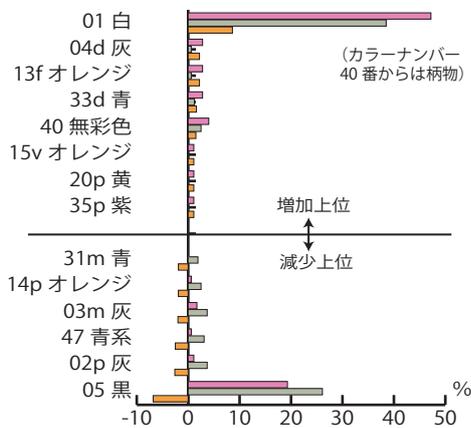


(ニュートラル系が、76%をしめている 前年比 +1.0
増加は白 +8.6、減少は黒 -6.8 が目立つ
灰では、d 灰 +2.2 以外は減少 柄物は +1.5)

増加カラー 白、d 灰、f オレンジ、d 青、v オレンジ



詳細カラー増減 (上位)



肩ポイント



柄 文字他、ミックス、ぼかし



透け感



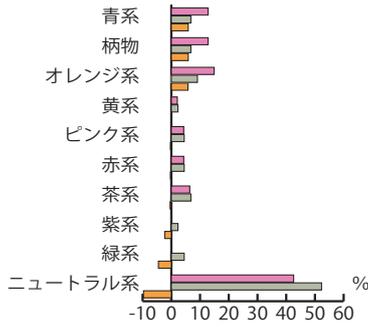
素材組み合わせ



セーター、カーディガン

色では、青系、柄物、オレンジ系が増加 減少はニュートラル系が目立つ
詳しくは、p オレンジ、p 青、柄物の無彩色がリード、減少は白が大きい

集約した色相増減 (増加順)



増加カラー 青系、オレンジ系、黄系、m 灰



(ニュートラル系が、49% を占める 前年比 -5.6 減少
増加は柄物 +4.1、m 灰 +2.1 大きく減少は白 -10.1)

透け感



肩ポイント

素材組み合わせ



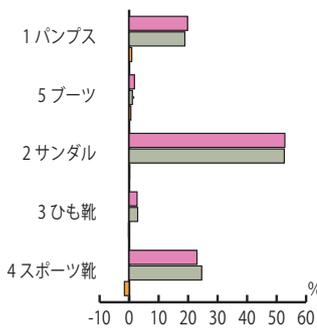
ボーダー、チェック



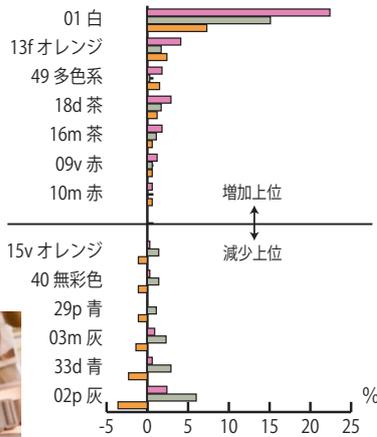
靴

サンダルが安定 パンプス、ブーツが微増
色では、白が急増、白に近いfが続く p 灰、d 青が減少

靴タイプ増減



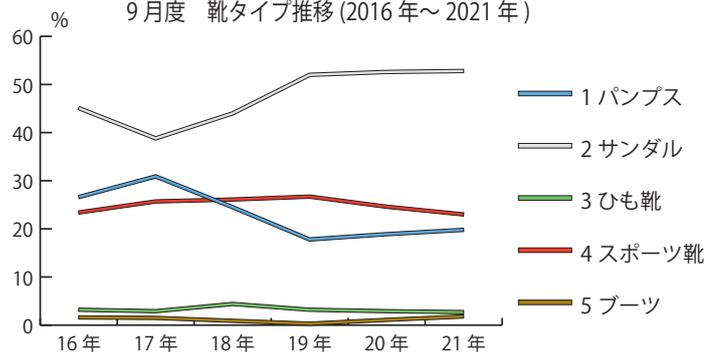
靴カラー増減 (上位)



サンダル、メタリック



9月度 靴タイプ推移 (2016年~2021年)



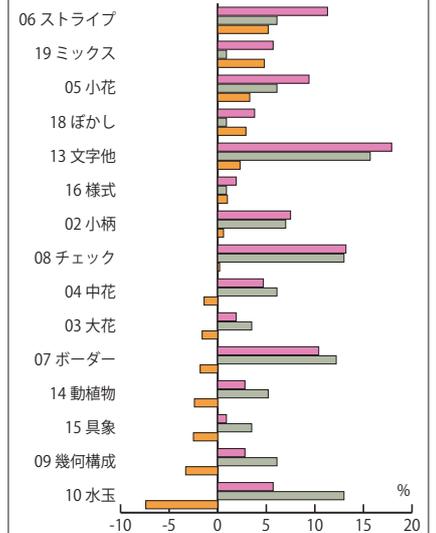
柄

ストライプ、ミックス、小花がリード、水玉が大きく減少
量的には、文字他、チェックが多い

アイテムで見ると、
・ブラウスがストライプで目立つ
・ニットはボーダー

柄減少アイテムでは
・スカートは、水玉からチェック、ぼかしに移行
・ドレスは、大花、水玉から小柄に移行
・カットソーは、ボーダーから文字他に移行

柄タイプ増減



アイテム別 柄タイプ増減

(0.8 ~ -0.8 は省略)

	ブラウス	ニット	パンツ	カットソー	ドレス	スカート	計
ストライプ	7.8					-1.7	5.2
ミックス	0.9		1.9	0.9		1.0	4.8
小花	0.9		0.9		1.2		3.3
ぼかし						2.8	2.9
文字他		-0.9	0.9	3.1		-0.9	2.3
様式	0.9						1.0
小柄	1.0	0.9	-0.9		2.0	-2.5	0.6
チェック	-1.4	0.9		-0.9	-0.9	3.0	0.6
中花	1.1					-2.5	-1.4
大花			0.9		-2.6		-1.6
ボーダー	0.9	1.1		-4.8		0.9	-1.8
動植物	-0.9				-0.9		-2.4
具象	-0.9			-1.7			-2.5
幾何構成	1.0		-0.9	-0.9	-0.9	-1.7	-3.3
水玉				0.9	-2.5	-5.1	-7.4
計	10.8	2.2	1.7	-3.1	-4.4	-7.1	